

中秋名月船上月見演奏会

名古屋港ワイルドフラワーガーデンブルーボネット主催
2005年9月18日中秋明月船上観月演奏会

・・・演奏曲目・・・

合奏 彩雲追月 南の花嫁さん

合奏 月亮代表我的心 月は我が心のしるし

二胡独奏 二泉映月 (無錫にある天下第一) 二泉に映える月

揚琴独奏 エーデルワイス

歌 赤とんぼ

歌 敖包相会 アオパウで逢いましょう

歌 草原上昇起不落的太陽 草原に昇る太陽

ピアノ独奏 月光

歌 浜千鳥

歌 荒城の月

合奏 賽馬 二胡名曲

演奏：茉莉花二胡合奏団 (ジャズミン・アンサンブル)

二胡：朱新建 (シュ シンケン)

歌：包金鐘 (ポウ ジンジュン/テノール)

揚琴：朱藝 (シュ イイ)

ピアノ：市橋亞弓 (いちほし あゆみ)

【中国の中秋名月について】

1. 中秋名月の慣習について：中国の旧暦（中国では月暦という）の8月15日に行われる民間行事である。瓜（南瓜など）と果物（西瓜、ぶどうなど）と月餅などを供えてお月様を祭る。女の子がお願いをすると美人になると言う。一家団欒してご馳走を作って、月餅を食べ、桂花（金木犀の花）酒などの酒を飲んで観月をする。
2. 中秋名月の由来について：古代、英雄の後羿（Hou Yi）が道教の王母娘娘から不死の薬をもらったが、これを飲むと仙人となり昇天できるという。ところで妻子を見捨てられず、しばらくは妻の嫦娥（Chang'e）に薬を預けた。ところで悪いやつ蓬蒙（pengmeng）が薬を奪おうとしたので、妻が薬を飲んだら、仙女となって月へと昇っていった。15夜の日だった。妻を偲ぶためにはじめた月の祭りは民間に広まった、ということである。
3. 日本には遣唐使たちによって中秋観月の習慣が伝わり、後に「竹取物語」が誕生し、お月見の習慣も広まったのである。
4. 中国の詩：蘇东坡 「明月几时有，把酒问晴天。…但愿人长久，千里共婵娟。」
日本の詩：芭蕉 「名月や 池を巡りて夜もすがら」 — 「名月や 海を巡りて夜もすがら」